



一流選手の心構え聞く

卓球元王者ら 児童ら213人参加
レクレで講習

卓球の元全日本王者

らが指導する講習会が26日、レクレセンターで開かれた。市と岡山市の小中高校生ら213人が、一流選手の心構えや技術に触れ、競技への意識を高めた。

メガネ「セキト」

154期

全日本選手権の1993年シングルス王者・岩崎清信さん(50)＝東京都＝が高校生を指導。小中学生は、2002年ダブルス準優勝の矢島淑雄さん(48)＝埼玉県＝が担当した。岩崎さんは「球の重量は同じでも、選手の気持ちによってショットの重みは違う。その一球に魂を込めてほしい」と呼び掛け。心構えでミスが減らせること、上半身を安定させるひさの使い方など、実技を交えて手ほどきした。

玉野高校卓球部主将の吉田伊織さん(16)＝2年＝は「技術を高めるためには精神面が大切だとわかった。今後の練習に生かす」と話した。

矢島さんは、卓球台を横に使い、対面して軽く打ち合う練習を紹介。距離感を養い、コントロールを高める狙いがあり「まずはラリーを続けて卓球の楽しさを味わおう」とアドバイスした。

講習会は、玉野ライオンズクラブが市のトップアスリート招へい事業を利用して毎年開催し、8回目。

(近藤哲也)

玉野ライオンズクラブによる卓球講習会で、岩崎さんの話に熱心に耳を傾ける高校生ら